

平成 28 年度の地域連携センターの活動も、おかげ様で無事すべての行事を終了いたしました。「地域連携センターニュース vol.6」では、下半期の活動を中心にをご紹介します。平成 29 年度も地域の皆様と連携し、活動を行って参りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

Topic1

産業技術フォーラムを開催しました（全2講）

「産業技術フォーラム」は、各界で研究実績を積み重ねてきた研究者・技術者による専門分野の最先端情報を企業・市民の方に解りやすく解説する講座で、鶴岡高専技術振興会と共催しております。

<第 44 回> 11 月 22 日（火）開催



庄内産業振興センター（鶴岡駅前マリカ東館 3 階）において、『事業の終息と転用・新規事業』と題し、アルプス電気（株）取締役の梅原 潤一氏にご講演いただきました。講演では、電子部品業界の特徴や電気電子機器の変遷に伴いこれまでに直面してきた転用の事例をご紹介いただき、転用ビジネスのねらいと手法、法的課題の対応手法、大学や知財ビジネス取引先との連携活用など、実態に即した内容でお話いただきました。



<第 45 回> 12 月 20 日（火）開催



酒田勤労者福祉センターにて、『JST 復興促進活動で学んだ産学連携の在りよう』と題し、宮城大学 地域連携センター 教授の鈴木 康夫氏にご講演いただきました。東日本大震災後、水産加工サプライチェーン復興に向けたシステム構築をテーマに補助金に応募し、採択を通してわかった、大学等の研究機関と実際にシステムを利用する企業との連携の在り方、また、宮城大学の学生が『第 11 回キャンパスベンチャーグランプリ東北』で最優秀賞を受賞した「白菜の根の活用に関する研究」についてもご紹介いただきました。

Topic2

K-ARCシンポジウムの開催

11 月 30 日（水）に「ICT でつなげる地域共生アグリ・バリュースペース」と題して、「K-ARC シンポジウム 2016」を鶴岡市メタボロームキャンパスで開催しました。

基調講演は、農業ビジネス編集長 浅川 芳裕 氏から、『「スマート・テロワール×ICT」への期待』と題して、スマート・テロワールを深く理解するための答えや ICT をテロワールに生かすための手段について、分かりやすく、ときにはユーモアを交えながらお話し頂きました。



浅川芳裕 氏



研究セッションでは、山形大学農学部 浦川修司教授と本校創造工学科情報コースの金帝演助教からそれぞれ講演があり、グローバルセッションでは、東京大学農学生命科学研究科の Quoc-Thuyet DANG Ph.D と本校創造工学科情報コースの Salahuddin Muhammad Salim Zabir 教授からそれぞれ講演がありました。

イブニングセミナーの開催

鶴岡高専技術振興会と本校地域連携センターが共催のセミナーで、鶴岡高専技術振興会会員企業及び地域企業の経営者・技術者に向けて、新規事業の創出、技術革新を目指した技術管理手法を提供し、講演後には、講師とのディスカッションを通して具体的手法の創出を目指す内容で開催しています。

<第1回> 11月11日(金)開催

鶴岡メタボロームキャンパス大会議室において、山形大学学術研究院の柴田 孝 教授にお越しいただき、『新しい時代を見据えたものづくり成長戦略』についてご講演いただきました。ディスカッションでは、講演内容を踏まえ、参加者の方の職場の実態・悩み等を柴田教授と一緒に話し合いました。



<第2回> 2月22日(水)開催

本校の高橋幸司校長から『若手技術者へのメッセージ』をお話しし、その後本校機械コースの末永文厚教授から『企業の技術者と「技術士」資格ー若手に伝えたい失敗談を含めてー』と題し、お話ししました。また、ディスカッションでは、企業で若手技術者に求めることや本校学生について様々な意見がでました。



産学合同研究発表会



3月6日(月)に庄内産業振興センターにおいて、鶴岡高専産学合同研究発表会を開催しました。

このイベントは、本校教職員と地元企業研究者・技術者による合同研究発表を行うもので、高専シーズの発信、企業ニーズとのマッチングの機会として、地域の産学連携・相互協力が活発に行われることを目的としています。今回は、(株)ヨロズエンジニアリング代表取締役社長 齋藤様の代理として管理課の小原様にご講演いただき、その後、鶴岡高専教員と鶴岡高専技術振興会会員企業2社の研究発表、及び本校 K-ARC での教育について発表しました。終了後の情報交換会にも多くの方にご参加いただき、今後の更なる連携に期待できる会となりました。

【 講演 】 『庄内におけるモノ造りと人材育成』

(株)庄内ヨロズ・(株)ヨロズエンジニアリング 代表取締役社長 齋藤 建治 氏

【 研究発表 】

- 『新世代 IoT 技術の開発に関する研究～課題と応用～』
鶴岡高専 情報コース 教授 Salahuddin Muhammad Salim Zabir
- 『ピストン開発における計測技術』
マーレエンジンコンポーネンツジャパン(株)
テクニカルセンター実験部 部長 岩田 友幸 氏
- 『機能性無機粉体の合成技術』
鶴岡高専 化学・生物コース 准教授 小寺 喬之
- 『ALD(Atomic Layer Deposition)装置についてのご紹介』
(株)SHUTECH 代表取締役 田中 秀顕 氏
- 『鶴岡高専 K-ARC での教育研究について』

(1)K-ARC での教育研究概要・品質工学分野の取組み概要 / 機械コース 教授 田中 浩
教授 當摩 栄路

(2)卒業研究事例報告 / 専攻科 機械・制御コース 2年 阿部 考臣



● CO-OP（コーオプ）教育とは

企業における中長期の就業や、企業と高専との共同研究を通じて総合的な就業能力を身に付けた学生を育成する共同教育プログラムです。

本校春季休業期間中の約2週間、平成28年度春季CO-OP教育が実施され、地元企業4社において、学生7名（本科3年生4名、本科4年生3名）が参加しています。就業後は、学生のプレゼン能力向上及びCO-OP教育プログラムの更なる改善を図るため、本校に企業の皆様をお招きし、参加学生による成果報告会及び合同懇談会を実施予定です。

夏季に行われたCO-OP教育の成果報告会は、庄内産業振興センターで実施され、受入企業の皆様をはじめ、多くの地元企業や教育機関、行政機関の皆様にお越しいただきました。

実施企業	
1	オリエンタルモーター(株)
2	ティービーアール(株)
3	東北エプソン(株)
4	(株)山形共和電業



CO-OP 教育成果報告会（夏季）の様子

● 地域企業訪問研修とは

鶴岡高専技術振興会と本校が共催し、本校卒業生が企業技術者として活躍している地元企業を訪問し、現役企業技術者と懇談する機会を設け、実社会での企業人としての心構え等を学ぶ取り組みです。

平成28年度は、延べ111名の学生が研修に参加しました。

	実施企業	実施日
1	スズモト(株)	6月15日
2	ティービーアール(株)	6月22日
3	大阪有機化学工業(株)	7月1日
4	東北東ソー化学(株)	7月1日
5	米沢浜理薬品工業(株)	9月15日
6	(株)ニシカワ	10月19日
7	(株)JVCケンウッド山形	11月2日
8	(株)高研	11月16日
9	(株)共栄	11月30日
10	OKIサーキットテクノロジー(株)	12月9日
11	Spiber(株)	1月25日



3月1日(水)、鶴岡工業高等専門学校合同企業説明会(主催:山形県新企業懇話会、鶴岡高専、共催:鶴岡高専技術振興会)を本校第一体育館及び視聴覚室にて開催いたしました。この合同企業説明会は11回目の開催となります。今回は鶴岡高専技術振興会、山形県新企業懇話会の会員企業51社から参加いただき、県内企業を中心とした合同企業説明会としては大規模な説明会となりました。

参加した約190名の学生は、各ブースにおいて人事担当者等から企業概要や業務内容についての説明を受け、熱心に質問したりメモをとったりする様子が多々見受けられました。この合同企業説明会の開催により、身近な地元企業についての理解を深めることができたのではないかと思います。また、各企業の採用情報等はもちろんのこと、社会人としての心構えやビジネスマナー等も学ぶことができ、学生の今後の就職活動において大いに役に立つものと期待しております。

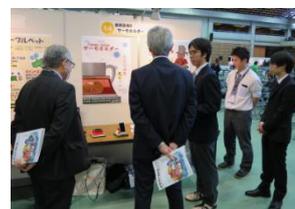
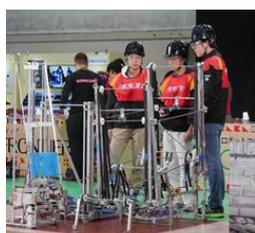


Topic7

3Dプリンタ・ロボコン結果

12月17日(土)、18日(日)に高知ちばさんセンターで開催された「デザインコンペディション2016 AM デザイン部門」に、予選を通過した本校2チームが出場しましたが、残念ながら入賞には至りませんでした。

- A「ケーブルペット」：机上の電気配線を安全に簡単に収納でき、見た目もかわいいデザイン
- B「サーモホルダー」：熱い飲み物を安全安心に収納でき、現在の温度がLEDで判別できるミニこたつ



10月23日(日)に仙台高専広瀬キャンパスにて「高専ロボコン2016東北大会」が開催され、本校から2チームが出場しました。

- A「ApiCherrys (アピチェリーズ)」：1回戦敗退、特別賞(東京エレクトロン(株))受賞
- B「ラ・ポン」：1回戦敗退、特別賞(マブチモーター(株))受賞

Topic8

ものづくり支援講座

3月7日(火)、8日(水)に、鶴岡高専技術振興会の主催により、地域製造業の人材育成や専門知識向上と、鶴岡高専と企業間の連携強化を図ることを目的に、本校教員が鶴岡高専に近年導入された教育研究設備を紹介し、実験・測定・解析等の演習を盛り込んだ技術講座「モノづくり企業支援講座」を実施しました。

- 【講座1】3D造形の基礎と応用 / 教育研究技術支援センター 技術職員
- 【講座2】無人航空機の基礎と応用 / 創造工学科情報コース 助教 金 帝彦



Topic9

鶴岡高専技術振興会会長表彰

鶴岡高専技術振興会会長賞は、鶴岡高専技術振興会(会長：榎本政規鶴岡市長)が、鶴岡高専における学術研究活動や地域連携(地域貢献)活動等において、特に顕著な業績をあげた学生、学生団体に鶴岡高専技術振興会会長賞を贈り、今後の学業推奨を図ることを目的に平成24年度に設置されたものです。

平成28年度は、鶴岡高専校長・鶴岡高専地域連携センター長の推薦に基づき以下2名に決定し、3月16日(木)鶴岡市役所庁議室において表彰式が行われました。

- ◆井上 貴明(専攻科 生産システム工学専攻2年)
国際シンポジウム「The 6TH ISTS」において、エネルギー部門に投稿された論文のうち最も優れた論文に送られる「エネルギー部門最優秀論文賞」を受賞。

- ◆佐々木純菜(物質工学科5年)
「第1回高専生サミット on Bioinspired Chemistry」にて研究発表を行い「最優秀賞」を受賞。さらに国際会議「International Conference of “Science of Technology Innovation2017”」において、研究内容を英語でプレゼンテーションを行った。



左から、内山教授、井上君、高橋校長、榎本鶴岡市長、佐々木さん、齋藤准教授

編集・発行

■鶴岡高専地域連携センター

〒997-8511 鶴岡市井岡字沢田104

Tel : 0235(25)9453

E-mail : techno@tsuruoka-nct.ac.jp

■鶴岡高専技術振興会((公財)庄内地域産業振興センター内)

〒997-0015 鶴岡市末広町3番1号

Tel : 0235(23)2200

E-mail : info@shonai-sansin.or.jp